

スクールミッション:「平和で民主的な国家・社会の有為な形成者を育成する」を目標とし、生徒が知的好奇心を高め、自ら学び、考える力を養う学習指導、3年間を見通したキャリア教育、自主・自律の精神を基盤とした生活指導といった教育活動を通じて、「深く考える、創造する、行動する」生徒を育成します。		
スクールポリシー 1 グラデュエーション・ポリシー「自主・自律」 希望進路実現及び卒業時進路決定率の向上	スクールポリシー 2 カリキュラム・ポリシー「文武両道」 教科指導の充実と部活動・学校行事の活性化	スクールポリシー 3 アドミッション・ポリシー 向上心をもって意欲的に努力を継続する生徒

中期的目標	東京都教育委員会の基本方針、東京都教育施策大綱、東京都教育ビジョン並びに進学指導推進校指定等を踏まえ、以下の諸観点を重視した学校づくりを推進します	
	1 学習指導	全ての教科で授業内容と達成度を検証し、生徒が知的好奇心を高め、自ら学び、考える力を養い、学力向上と幅広い視野の獲得を目指します
	2 進路指導	組織的・計画的な進学指導体制を充実させるとともに、3年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒の希望進路の実現、進路を切り開く力を身に付けさせます
	3 生活指導	自主・自律の精神を基盤として個性や想像力を伸ばし、社会の中での自由と責任を深く自覚することで思いやりと規範意識を育てます
	4 募集対策	ホームページ更新等によって、適時学校広報を行い、塾・中学校訪問を通して学校の魅力を伝えながら、教育課程の見直しを図り、志望者の開拓と募集活動に取り組みます
	5 安全健康	生涯に渡る心身の健康維持・増進について考え、判断、行動できる力を育成し、すべての生徒が安心して通える学校環境を作ります
	6 学校組織	課題解決に向けた適正な学校経営と意思決定、地域連携強化、経営企画室との連携による教育参画、教育活動に合わせた適正な予算編成・執行と施設・設備の保守改善に努めます

年間目標	生徒を学びに向かわせる枠組みづくり	付加価値のある教育実践	コミュニケーションのある関係構築、運営
------	-------------------	-------------	---------------------

取り組みと方策	1 学習指導 <学力向上と幅広い視野獲得> ☆教育課程編成及び管理 ・総合的な探究の時間の体系化 ☆付加価値のある授業実践 ・時間の有効活用⇒集中力向上 ・内容、展開、方法、形態の工夫 ⇒論理的思考、広い視野、新たな知の創造、主体的に学び続ける態度、対話型授業、総合的な英語力の育成 ・一台端末等デジタル活用の促進 ・図書館、図書資料を活用した主体的学習 ・研究授業、相互授業参観、他校授業参観等、教員の主体的研修 ・生徒による授業評価 ☆国際理解教育の充実 ⇒都の事業を活用、グローバル人材の育成 ☆学習時間拡大 ・授業時間確保、補習実施 ・自宅学習課題提供 ・各種検定・技能試験対策	2 進路指導 <進学指導推進校の目標達成、予備校に依存しない進学指導体制構築> ☆授業外の学習機会提供 ・期末考査後期間の活用 ・長期休業日中の講習 ・自習室活用促進 ☆模試の活用と指導の充実 ・模試受験準備及び振り返り指導 ・模試・入試過去問を活用した授業 ・年間進路指導計画による進行管理 ☆可能性を否定しない指導の展開 ・三者面談充実(3学年全員対象) ・担任+進路図書部連携強化 ・生徒情報の収集と共有 ・個に応じた指導 ⇒データに基づく励まし指導の充実 ☆キャリア教育による意識向上 ・進路情報提供、個別指導の充実 ・都主催事業の積極的活用	3 生活指導 <自主・自律、自由と責任> ☆学校生活の充実 ・考えさせ、主体的に取り組む指導 ・今*に取り組ませる指導 ・学校行事充実に向けた適切な支援 ・部活動活性化推進 ※今しかできないこと、今すべきこと ☆コミュニケーション重視の指導 ・日常的な声かけ、挨拶指導、対話、相談体制確立 ・SNS、スマホ使用についての指導 ・明るい雰囲気、他を認める態度、言葉を交わす姿勢の育成 ☆相談体制の充実 ・生徒個別面談(面談週間) ・校内教育相談体制の確立 ・スクールカウンセラー活用 ・特別支援教育の理解啓発 ・個別指導計画の作成	4 募集対策・広報活動 <豊多摩が望む生徒、豊多摩を望む生徒の獲得> ☆付加価値のある学校づくり ・環境、教育内容改善及び充実 学力向上、幅広い視野(1 学習) 希望進路実現(2 進路) 学校生活の充実(3 生活) ☆魅力をアピールする方法の開発 ・広報活動充実 ・効果的演出の工夫、PR 動画撮影 ・ホームページ活用 魅力ある学校行事や教育実践、生徒の活動状況を随時掲載 ・都立高校 EXPO、相談会の最大限参加 ・中学校・塾訪問等 ・入選方法改善検討 文化スポーツ等特別推薦の継続	5 安全・健康 <生徒・教職員の安心・安全> ☆生徒の安心と安全 ・登下校時自転車等交通安全、ヘルメット着用指導推進 ・TOKYOACTIVE PLAN for students に基づく体力向上と健康保持増進 ・薬物乱用防止等セーフティ教室 ・基本的感染症対策、オンラインによる学習バックアップ ・避難訓練実施、防災意識涵養 ☆環境 ・汚損箇所修復、校内美化 ・紙資源削減、ペーパーレス取組 ☆生徒・教職員の心身の健康 ・いじめ防止 ・体罰等服務事故防止研修 ・対話、相談できる環境づくり ・働き方改革、時間外勤務短縮	6 学校組織・地域連携 <組織力向上> ☆課題解決に向けた組織の確立 ・組織的 PDCA サイクルの徹底 ・企画調整会議を柱とした学校運営 ・JIT 体制、業務継承と人材育成 ☆協力的体制構築と明るい職場形成 ・コンプライアンス徹底 ・職員室&経営企画室連携 ・経営目標に基づく企画室参画 ☆地域関係諸機関との連携 ・学校運営連絡協議会、地域開放 ・地域連携及び外部人材活用 ・地域行事を通して生徒の健全育成 ☆個人情報の適正な管理 ・PC 効率運用、紙媒体情報管理
---------	--	---	---	---	---	--

重点目標(指標)	・生徒授業満足度向上 ( R6 86.2% / R5 84% / R4 75% ) ・授業外学習時間確保(平日/休日) 1年 ( R6 59/85 R5 65/91 R4 61/80 ) 2年 ( R6 93/141 / R5 104/151 R4 120/178 ) ・実力テスト平均偏差値下降抑止 ( 模試1月期-7月期 ) 1年 ( R6 -0.8 / R5 +0.1 / R4 -0.5 ) 2年 ( R6 -1.7 / R5 -2.1 / R4 +0.8 )	・長期休業日中の補習・補講(講座/人数) ( R6 80/4,916 R5 76/4,215 R3 R4 68/4,140 ) ・大学入学共通テスト平均点以上教科・科目数 ( R6 16 / R5 19 / R4 17 ) ・大学入学共通テスト74%得点率 ( R6 29% / R5 28% / R4 27% ) ・現役希望進路決定率 ( R6 84.8% / R5 85% / R4 85.2% ) ・大学合格者数 国公立( R6 28 / R5 31 / R4 20 ) 難関私大( R6 60 / R5 68 / R4 53 ) GMARCH( R6 325 / R5 289 / R4 271 )	・遅刻者数減 一日クラス平均人数 ( R6 0.98 / R5 1.0 / R4 1.4 ) ・部活動加入率100% ( R6 113% R5 110% / R4 109% ) ・都大会進出5部以上 ( R6 7 / R5 5 / R4 6 ) ・部活動満足度向上 ( R6 95.2% / R5 92% / R4 86.9% ) ・学校行事満足度向上 ( R6 97.7% / R5 96% / R4 74.1% ) ・保護者生活指導満足度向上 ( R6 94.7% / R5 94% / R4 89.8 )	・ホームページ更新回数 ( R6 263 / R5 231 / R4 210 ) ・学校案内パンフレット、ポスター更新 ・学校見学会、説明会充実 放課後、短時間、校友会主催含 ( R6 4,302 / R5 4,231 / R4 3,236 ) ・その他、外部説明会、相談会参加 ( R6 17回 ) ・中進対志願者倍率維持 ( R6 1.79 / R5 1.7 / R4 1.6 ) ・入選一次応募倍率維持 ( R6 2.27 / R5 1.9 / R4 2.0 )	・自転車ヘルメット着用率向上 ・オンライン学習デー ・校舎老朽化・危険箇所の速やかな対応、不要物品廃棄 ・校内美化の取組み、ごみ分別・減量化等環境教育の推進 ・職員会議ペーパーレス化 ・学校保健委員会開催 ・産業医活用 安全衛生委員会毎月実施 ・いじめゼロ ・心の病による休職者ゼロ	・職員室、準備室等執務環境整備 ・校務支援システム C4th 活用 ・分室内コミュニケーション、分掌間連携、拡大部会(教務、生徒保健、進路図書)、主幹会議による情報共有 ・職員室一経営企画室連携による事務円滑化 ・一般需用費の適正なセンター執行 ・学校開放委員会 ・生徒ボランティア地域参加 ・服務事故ゼロ ・学校事故苦情ゼロ
----------	--	--	---	---	--	---